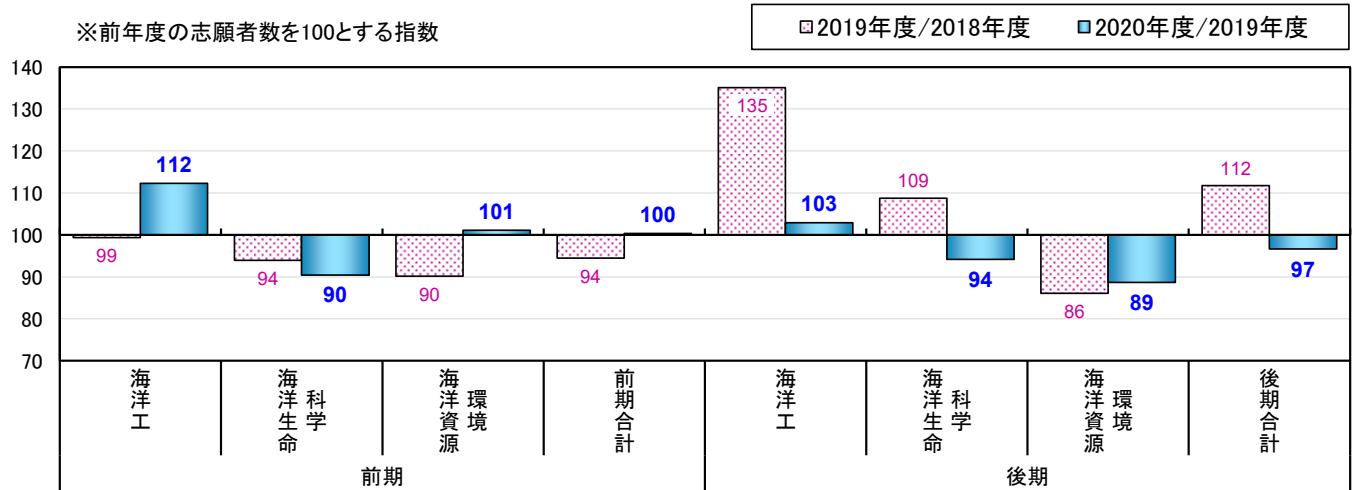


## 2020年度入試状況分析【国公立大】

東京海洋大：海洋工が前期・後期ともに増加

前期：+3人 後期：-32人



**COMMENT** ※ ( ) 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は3人(100)の微増で、2年連続減少の反動はみられなかった。後期は、32人(97)のやや減少で、2017年度以降、前年度の反動による増減が継続。民間の英語4技能資格・検定試験を出願要件としていない海洋工が、前期・後期ともに増加。

＜前期日程＞

- 海洋工(112)は、2年連続減少反動で増加。学科別では、3学科のいずれも増加で、特に、(海事システム工)(121)は大幅増加。
- 海洋生命科学(90)は、系統への低い人気も影響し、3年連続減少。学科別では、(海洋生物資源)(104)はやや増加だが、これを除く2学科は減少、特に、(海洋政策文化)(66)は大幅減少。
- 海洋資源環境(101)は、2年連続減少の反動はなく、前年度並。学科別では、(環境資源エネルギー)(141)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、一方で、(海洋環境科学)(90)は減少で3年連続減少と対照的。

＜後期日程＞

- 海洋工(103)は、やや増加で、2年連続増加。学科別では、(流通情報工)(182)、(海洋電子機械工)(130)は大幅増加、一方で、(海事システム工)(43)は半減を超える大幅減少と対照的。
- 海洋生命科学(94)は、やや減少。2017年度の学部改組後、翌年から前年度の反動による増減が継続。学科別では前期と同様の増減で、(海洋生物資源)(139)は大幅増加だが、これを除く2学科は減少、特に、(海洋政策文化)(61)は大幅減少。
- 海洋資源環境(89)は、2017年度の学部改組後、減少が継続した。学科別では前期と同様の増減で、(環境資源エネルギー)(126)は前年度半減の反動で大幅増加、一方で、(海洋環境科学)(79)は大幅減少と対照的。